

花南地区民ふれあい登山の参加者を募集します

鞍掛山～イーハトーブの風景地～

花南地区コミュニティ会議の生涯学習事業「花南地区民ふれあい登山～鞍掛山～」を開催します。

岩手山のふもとに広がる標高897mの鞍掛山は、登山初心者にも比較的登りやすく、毎年3万人を超える登山者が訪れる人気スポットです。鞍掛山は宮沢賢治が愛した山で駐車場わきには歌碑「くらかけの雪」があります。また、鞍掛山はイーハトーブの自然風景を連想させる県内7ヶ所からなる国指定名勝「イーハトーブの風景地」のひとつになっています。地域の皆さんと交流を深めながら賢治さんゆかりの山に登ってみませんか。

- ・期 日 **8月24日(火)** 小雨決行
- ・場 所 岩手県滝沢市「鞍掛山」
- ・集 合 08:45 花南振興センター(受付、健康管理票記入、検温)
- ・日 程 09:00 花南振興センター出発

花巻南IC⇒矢巾PA(トイレ休憩)⇒盛岡IC

10:30 相の沢キャンプ場到着

トイレ休憩、登山準備、ラジオ運動

10:50 登山開始

12:50 山頂～記念写真、昼食～

13:30 下山開始

14:30 相の沢キャンプ場到着(トイレ休憩、帰路準備)

14:40 // 出発 盛岡IC⇒花巻南IC

16:30 花南振興センター到着予定

- ・服 装 登山に適した服装、履きなれた靴、熊鈴(持っている方)
- ・持ち物 マスク、昼食、飲み物、おやつ、雨具、帽子、手袋、着替え、タオル等
- ・参加料 100円(保険代)※移動は花巻市の公用バス。高速料金はコミュニティ会議が負担します。
- ・対象者 花南地区にお住まいで自然に関心があり学ぶ意欲がある方

登山の体力や足腰・健康状態に不安のない方

- ・定 員 20人(先着順)
- ・申込み 参加希望の方は、8月2日(月)午前9時から花南地区コミュニティ会議(☎24-4415)へ申し込み願います。
- ・その他 バスの座席を指定しマスク着用で乗車します。当日、発熱や風邪の症状がある方は参加をご遠慮願います。



「三世代交流会」中止のお知らせ

毎年、8月上旬に昔遊びや昼食会などで世代間の交流を深めるため開催していましたが「三世代交流会」ですが、児童・大人合わせて140人以上が参加する事業であることや、新型コロナウイルス感染症対策の観点から今年の開催を残念ながら中止いたします。

令和3年5月20日から

警戒レベル
4

避難指示で必ず避難

令和3年5月20日、避難情報に関するガイドラインの改定があり、「警戒レベル4 避難指示(緊急)、避難勧告」が「警戒レベル4 避難指示」になりました。なお、「避難勧告」は廃止されます。

「警戒レベル4 避難指示」が発令されたら、危険な場所から必ず避難してください。

| 警戒レベル | 状況 | 行動を促す情報 | 住民がとるべき行動 |
|----------------------------|------------------|----------------------|--------------------|
| 5 | 災害発生 又は切迫 | 緊急安全確保 | 命の危険 直ちに安全確保！ |
| ~~~~~<警戒レベル4までに必ず避難！>~~~~~ | | | |
| 4 | 災害の おそれ高い | 避難指示 | 危険な場所から 全員避難 |
| 3 | 災害の おそれあり | 高齢者等避難 | 危険な場所から 高齢者等は避難 |
| 2 | 気象状況悪化 | 大雨・洪水・高潮注意報 (気象庁) | 自らの避難行動を確認 |
| 1 | 今後気象状況悪化の おそれ | 早期注意報 (気象庁) | 災害への心構えを高める |

避難に時間のかかる
高齢者や障がいのある人は、
警戒レベル3 高齢者等避難で
危険な場所から避難
しましょう。



避難勧告は廃止されます。
これからは、
警戒レベル4 避難指示で
危険な場所から全員避難
しましょう。



警戒レベル5は、
すでに安全な避難ができず
命が危険な状況です。
警戒レベル5 緊急安全確保の
発令を待ってはけません！



内閣府ホームページ「防災情報のページ」より

県立農業ふれあい公園「農業科学博物館」からのお知らせ

第86回企画展

塩の道を支えた南部牛

期日：令和3年7月3日～9月30日

会場：農業科学博物館（農業ふれあい公園内）

開館時間：9:00～16:30（入場は16:00まで）

休館日：月曜日（月曜日が祝日の場合は翌日）

入館料：一般300円、学生140円、高校生以下無料

問合せ：0197-68-3975

花南地区に隣接する農業科学博物館（県立農業ふれあい公園内）からのお知らせです。

「塩の道」とは、沿岸から塩や海産物等を内陸に運び、内陸からは、米穀・雑穀等の農産物を沿岸に運ぶのに使われた道のことをいいます。今回は、塩の道をたどりつつ、沿岸・内陸を往来した牛方（牛飼い・牛追い）と牛たちの活躍ぶりを振り返り、岩手が誇る短角牛の発展経過や当時の生活を見つめます。